

試作してほしい

新しい作物と品種

オーチャードグラス フロード



チモシー クライマックス



チモシーは乾草用として昔から愛好されていますが、葉の少ないのが在来種の欠点でした。クライマックスはカナダで主に利用されている葉部収量の多い優良品種、耐寒性も強い。

オーチャードの栽培は年々広がっていますが、新品種フロードは葉の量多く、再生力も旺盛で採草、放糞牧いづれにも利用できる優良品種です。ぜひ期待をもって御試作下さい。

青刈菜豆 サットンズペシール ペキン

寒冷地で、デントコーンにからみつき、サイレージの蛋白増加に最近大いに好評を得ています。新品種ペキンはサットンズペシールより晩生で、葉枯れ(炭疽病)が少なく、収量の多い優良種。播種はデントより三〇〜四〇日遅く、デントの株元に三〜五粒点播。写真はサットンズペシールの纏絡状況。



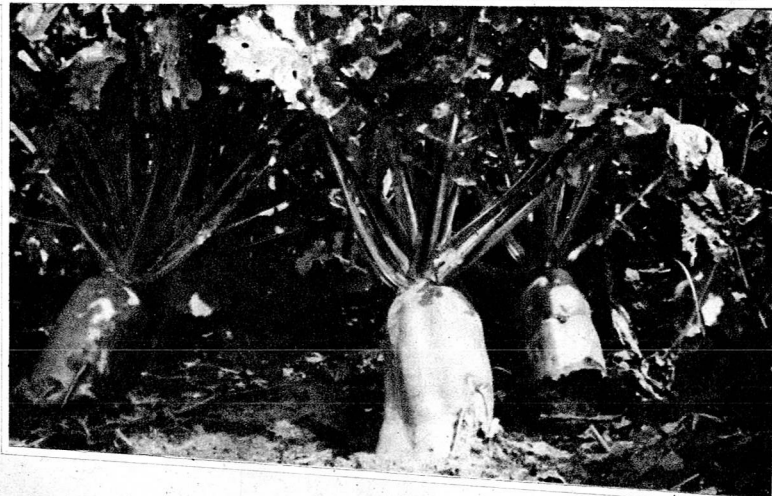
デントコーン ジャイアンツ

寒冷地向一代雑種 複交系はいずれも早生品種で生草収量が少ないが、新品種ジャイアンツは草丈高く巨人タイプ、子実収量も多い一代雑種です。成熟日数は複交八号と黄色種との中間なので、北海道中央部またはそれに準ずる地帯のサイレージ用。右 黄色種 中 複交八号 左 ジャイアンツ



カブ 紫長カブ

丸いばかりがカブでない。紫長カブの登場。早春まで抽薹せず、生育日数は七〇〜八〇日。春まき品種として適し、春まき栽培では雪印改良紫丸カブの収量より勝るとも劣らず。御試作のほどを。



寒高冷地



ペレニアルライグラス

マンモス・ペレニアル (四倍体)

収量は在来種に比して10~20%の増収ですが、晩生種で茎葉の硬化が遅く、葉の割合の多い高栄養の新優良品種です。

ラデノクロバーとの混播に、または輪換畑へに試作を左から二番目がマンモス・ペレニアルです。



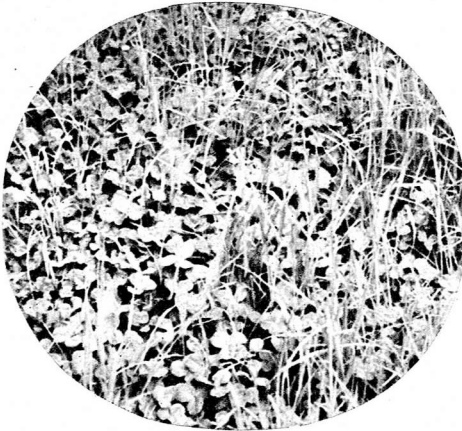
イタリアンライグラス

マンモス・イタリアン (四倍体)

在来のイタリアンに比し巨大で葉が多く、再生力も旺盛で30~40%増収の優良品種、今年の秋作に備えて是非試作してみてください。写真右が在来種、左がマンモス・イタリアン。

試作してほしい

新しい作物と品種



ニュージーランド・ホワイトクロバー

放牧用として、白クロバーのすぐれていることは定評のあるところですが、その中でも、ニュージーランド・ホワイトが最高です。

永年生で寿命は最も長く、葉の繁茂がいちじるしく、収量は草丈のみかけに似合わず多収性であり、耐寒性、耐旱性に富み、再生力旺盛です。



パーシムクロバー

(エジブシエンクロバー)

温暖な雨の多い気候に適し、生育が非常に早く、多汁、多葉の一年生マメ科牧草。クリムソンクロバーの様に開花後の硬化はありません。

別名ウインター・ルーサンと称し、暖地ではルーサンの休眠している間でも生育を続け、年間に4~5回刈取りでき、土壌改良にも役立ちます。

寒高冷地・暖地



家畜ビート

三倍体

普通家畜ビートに四倍体家畜ビートを交配した新しい一代雑種で、その特徴は

- ①根部の収量が多い。
- ②乾物量平均一六%、肉質堅く貯蔵性にとむ。
- ③根部の半分は地上に出ているから、抜きとりやすい。

タンバラ

種子をバラリと蒔けば短期間に生育する緑飼作物。ただしタンバラとは英名でハゲイトウの一種です。
三〇センチにも及ぶ柔らかい葉をたくさんつけ、再生力もあり、収量は多く鶏、豚が好み、牛も好んで喰い、人間も食べられます。種子は微細なので僅少で結構。
播種は寒冷地で六月上旬、暖地で五月上旬、畦幅六〇センチに条播。刈取りは寒地八月月上旬、九月下旬、暖地七月月上旬、九月下旬まで二、三回。六、八センチの高刈をすること。
左側はスーダングラスです



赤クロバー ペネスコット



ルーサン リゾーマ

アメリカで育成された新品種で、初期生育早く、耐暑性あり、再生力も旺盛。

暖地では特に好い成績が報ぜられている。短年利用に向く品種です。

ルーサンは永年性で、蛋白ミネラル含量高く、収量も多いことは御存知の通り。

ルーサン品種の中で、リゾーマは初期の生育はやや低いが、年と共に増収、五カ年では他系統より最多収となります。茎葉は多く、茎が細く匍匐型でクサムラ状を呈するので放牧にも適する優良品種です。

耐寒性も強く、寒冷地、高冷地でも4～6年利用に適しています。

耐暑性牧草



ダリスグラス

南米原産の南方型牧草。草丈70～140センチに生育する永年性で、暑熱の盛夏に夏枯れを知らず、九州地方において7、8、9月に刈取りでき、6～9トンの生草量を得られます。

草型はクサムラ状で、強い根茎をもち、湿潤な土壤に良く生育する反面、耐旱性も強く、且つ寒さにも比較的強い利点を有しています。

バーミューダグラス

写真右がバーミューダグラスで、地上茎、地下茎でどんどん繁殖する強健なイネ科永年草で、優れた放牧地、芝地を作ります。重粘土壤に適し、生草量は3回刈で3～4ト。

バヒヤグラス

写真左のバヒヤグラスはバーミューダグラスと同様に、地上茎で密生した芝地を作り、放牧用に適し、乾草にも利用できます。生草量は3回刈で5～6ト。



暖地

試作してほしい

新しい作物と品種